

# 大阪赤十字病院 (大阪府)

## 病床数

939 床

## 病院の特徴

大阪赤十字病院では、「心のかような高度の医療」をコンセプトに、質の高い医療とサービスを目指し、最新の設備と機能を備えた診療体制を整えている。また、高度医療・急性期医療への対応としてICU、CCU、救急病床、人工透析、放射線治療（リニアック他）、小児専用病床及びNICU、手術室16室（日帰り手術・バイオクリーン対応等）を設置し、いつでも誰でも高度な医療が受けられる体制となっている。

外来診療部門は、受付から会計までの患者さまの流れを簡素化し、時間の短縮を図るための新システム「フルオーダーリングシステム」を導入し、自動再来受付機、自動精算機また検査部門には採血受付機を設置し、再診予約制の拡充や各診療科の受付を統合したブロック受付を導入するなど、患者さまをお待たせしない病院を目指している。

また、災害拠点病院として災害時用の医薬品・資機材の医療救護セットを備蓄し、屋上にはヘリコプター緊急離着場を設置している。平成18年4月から国際医療救護部を設置し、赤十字事業としての国際救護活動に職員を派遣している。

## 医師数

224名（2007年4月1日現在）

## 初期研修医定員 1年次

単独型 9名（2007年実績）/たすきがけ 3名（2007年実績）

## // 2年次

単独型 10名（2007年実績）/たすきがけ 3名（2007年実績）

## 処遇

1. 身分：1年ごとに契約更新する常勤嘱託
2. 研修手当：①給与 1年次35万円（諸手当込）、2年次37万円（諸手当込） ②賞与 年2回各10万円
3. 勤務時間および休日：職員に準じる
4. 休暇：嘱託・臨時職員及びパートタイマー就業規則に準じる
5. 宿直：平均月4～5回
6. 時間外勤務：時間外手当は給与に含まれる
7. 宿舎及び病院内の個室の有無：有り（空室がある場合）。通勤・住宅手当は規定内で支給する
8. 社会保険・労働保険：加入

- 9. 健康管理：年1回健康診断を実施
- 10. 医師賠償責任保険：加入
- 11. 外部の研修発表に関する事項：1年次は認めないが、2年次は年1回を限度に院長が認めた全国学会で演題発表者に、3万円を上限として旅費を支給する。

## 研修プログラムの特徴

当院における研修プログラムの目的は、すべての研修医が、医師としての人格を涵養し、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度、技能、知識）を身に付けることである。プライマリ・ケアをはじめとした様々な診療に携わり、臨床の最前線の場での最新の治療や、EBMに基づいた診療の実際を経験することが出来る。臨床研修に必要なすべての研修を本院内で行うことができ、研修管理委員会が中心となってプログラムを管理・運営するため、すべての研修医に対して公平で一貫した臨床研修を提供できる。研修医は、2年間の臨床研修修了後各診療科の専門医研修プログラムに応募し、卒後臨床研修から継続して専門医研修を受けることができる。

## 指導医から学生さんへのメッセージ

大阪市内にある当院は、多くの患者さまの診療にあたり、地域を代表する急性期病院としての役割を担っており、当院が有する症例の多さは、研修医の期待に応えられるものと確信しています。当院では、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身に付け、医師として求められる姿勢や人間性の向上を目指していただきます。そのために、注意深く問題点を見抜き、自ら積極的に学ぶ姿勢が必要です。学生の皆さんには、日ごろから医学的知識を高め、常に課題に関心を持ち、社会人としての素養を培ってほしいと思います。

## 研修スケジュール（年間）

内科系プログラム	内科 8ヶ月	外科 3ヶ月	救急・麻酔 3ヶ月	小児科 3ヶ月		産婦人科 2ヶ月	精神科 1ヶ月	地域医療 1ヶ月	選択診療科 3ヶ月
外科系プログラム	内科 6ヶ月	外科 4ヶ月	救急 2ヶ月	麻酔科 3ヶ月	小児科 2ヶ月	産婦人科 2ヶ月	精神科 1ヶ月	地域医療 1ヶ月	選択診療科 3ヶ月



救急当直は全く寝られない日も多々ありましたが、1年間の研修で最も自分の力になったと思います。上級医の先生や同期の研修医に皆面白い人ばかりで楽しく研修できました。

2006年度Cプログラム 研修医